

しょうがくせい みな
小学生の皆さんへ

きのう ねんせい ねんせい どうこう しんがくねん はじ はじ どうこう なつ せいふく
昨日は、6年生と8年生が登校しました。新学年が始まって初めての登校なのに、もう夏の制服というのは
なんとなく不思議な感じですが、衣替えのシーズンを迎えました。

にほん たいはん ちいき がつついたち ころもが おんだんか えいきょう
日本では大半の地域で6月1日が衣替えということになっていましたが、このところは温暖化の影響でしよ
う、5月末には蒸し暑くなり、衣替えが少しずつ早くなってきています。私 が子どもの頃は、着ているもののみ
ならず、家の襖や普段使う食器まで、夏用の涼しげなものに変えたの覚えています。今どきは、そういった
風習は変わってきているのでしょうか。少し淋しさを感じます。

にんげん く たんじゆん にち く かえ なか ひ なに か
人間の暮らしは単純な365日の繰り返しかもしれませんが、その中で、この日から何かが変わるとか、この
日だけはいつもと異なるという小さな変化を通して、新しい気持ちになることはとても大切だと思います。

おばやしせいしん がっこう きょう こよみ もと いわ び やくわり は おお
小林聖心という学校では、基督教の暦に基づくいわゆる「お祝い日」がその役割を果たしています。大
きいお祝い日から、小さいお祝いまで、一年の予定にたくさん組み込まれています。その時々季節感とも

かさ さまざま おも で みな こころ からだ きざ ひ
重なって、様々な思い出が皆さんの心と身体に刻まれていっているのではないのでしょうか。その日はいつも
よりきちんと身だしなみを整えとか、その日には必ずこの歌を歌うとか、また、その日が近づくと決まった

え ろうか かざ じゆんび きかん はい し し たいけん つ かさ
ご絵が廊下に飾られ、準備の期間に入るとか…。そして、知らず知らずのうちにそうした体験が積み重なり、
卒業後も、その季節が近づくとその時の思い出が蘇ってきて、決まった歌が歌いたくなるのではないでし

ようか。
このコロナウィルスによる病気のせいで、そうしたお祝い日をいつものようにお祝いできないことは残念です
が、オンラインという方法で、新しい祝い方ができているのも嬉しいことです。少しずつ登校が始まってきて

います。完全な通常に戻るには時間がかかることでしょう。ちょっと
した工夫をして日常生活に小さな変化を創り出し、新しい気持ちに

なるということ、ぜひ心がけてみてください。

